

バーコードリーダー設定表

(設定項目：ポストアンブル)

設定内容： **ポストアンブルの位置**に任意のキャラクタを挿入することができます。

設定例：“123456789 “の後に” 1 “を付けて” 1234567891 “で送信する。”

送信データフォーマット

STX	プリアンブル	桁数	プリフィックス シンボルID	読み取り データ	サフィックス シンボルID	ポスト アンブル	ETX	レコード サフィックス
-----	--------	----	-------------------	-------------	------------------	-------------	-----	----------------

以下のバーコードを順番に読み取って設定して下さい。

①：設定開始



②：ポストアンブル設定



下記の設定項目のいずれかを選択してください。

③：設定しない	③：設定する
	<p>次のページの ASCII コード表に進んで任意のキャラクタを設定バーコードでセットしてください。</p>
④：設定終了	
<p>設定しないの場合、ここで設定は終了です。</p>	

ASCII コード表

HEX 値	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DEL	SPACE	0	@	P	·	P
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	Q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	R
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	S
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	T
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	U
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	V
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	W
8	BS	CAN	(8	H	X	h	X
9	HT	EM)	9	I	Y	i	Y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	Z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	~	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	

設定例：プリアンブルに“1”をセットする場合

“1をセットする場合、”ASCIIコード表の“1”がある場所が重要となります

“1”は横の列で4列目にあり、**横列の番号**で言うと「3」の列にあります。

“1”は縦の列で2列目にあり、**縦列の番号**で言うと「1」の列にあります。

よって、ASCIIコード表の“1”は「3」「1」となり

設定用バーコードは **「3」「1」「セット」「設定終了」**と読み取ります。

複数のキャラクタをセットする場合

(プリアンブルでは、最大15キャラクタまで設定を行うことが可能です。)

設定例：“1”“A”をセットする。

ASCIIコード表で“1”は「3」「1」、 “A”は「4」「1」となります。

設定用バーコードは **「3」「1」「4」「1」「セット」「設定終了」**と読み取ります。

設定用バーコード



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7



F



セット



設定終了